

吹田徳洲会病院 がん化学療法施行の患者の対応指針

1. 吹田徳洲会病院がん化学療法施行患者の基本的対応

吹田徳洲会病院（以下、当院）では化学療法を原則、外来通院治療で行う。ただし、副作用の発現管理、副作用の制御が困難、外来通院が困難、社会的事情等の理由で外来通院治療出来ない場合は入院で化学療法を行うことを考慮する。

2. 体制について

専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時 1 人以上配置され、患者からの電話等による緊急の相談等に 24 時間対応する。時間外診療、救急外来などを通じて、患者急変時などの緊急時に早急に主治医に連絡し、対応の指示を仰ぎ入院が必要な場合は入院にて対応する。

3. 他の保険医療機関との連携について

当院はより充実したがん化学療法を行うため、他の医療機関、地域の保険薬局と連携し、患者サポートを充実する。トレーシングレポート、患者情報を受け入れる体制を取り、緊急時に入院できるように対応する。

4. がん化学療法レジメンについて

実施されるがん化学療法レジメンは全て、当院の化学療法委員会にて審議を経て承認される。最低年 1 回、がん化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を開催する。当院で行われている化学療法レジメンはホームページで公開する。

2024 年 6 月 吹田徳洲会病院 化学療法委員会